

新しい取消処分者講習（モデル事業）の実施結果について

1 モデル事業の目的と内容

平成20・21年度の2か年で実施された調査研究を踏まえ、4府県においてモデル事業として運転免許に係る新しい取消処分者講習を実施した。モデル事業のカリキュラムは、間に30日の間隔を空けた2日で合計13時間の講習で、呼気検査、AUDIT（オーディット：アルコール使用障害に関するスクリーニングテスト）、ディスカッション、ブリーフ・インターベンション（短時間のカウンセリング）を新たに導入し、間の30日間には日記形式による飲酒状況の記録を行った。

2 実施回数・受講者数

神奈川県警察	18回	男性96名	女性5名	計101名
愛知県警察	14回	男性92名	女性12名	計104名
大阪府警察	31回	男性199名	女性10名	計209名
愛媛県警察	12回	男性36名	女性4名	計40名
合計	75回	男性423名	女性31名	計454名

3 AUDIT（Alcohol Use Disorders Identification Test）の結果

0～7点（危険の少ない飲酒）	137名（約30%）
8～14点（危険の高い飲酒）	186名（約41%）
15～40点（アルコール依存症の疑い）	131名（約29%）

4 アンケート調査結果

受講者に対してモデル事業の検証の一環としてアンケート調査を実施した結果、以下のように一定の効果が見られる。

(1) 講習を受けている間の飲酒量の変化

「減少」340名 「増加」1名 「変化なし」93名
「不明」7名 「断酒中」9名

「断酒中」についてはアンケートの選択肢としていなかったが、記載した者がいたため別に計上

(2) 新しい講習と従来の講習の比較

「新しい講習の方が良い」158名
「今までの講習の方が良い」26名
「わからない」90名

その他の人は、「今までの講習を受けていないのでわからない」と回答

(3) 自由記載

「お酒との付き合い方を見直すきっかけができた。」「ワークブックの日記を書いたことで、飲酒に対する意識が働き、飲酒を抑制する良い機会となった。」等の記載がある一方、「1か月は長い」等の記載も見られた。

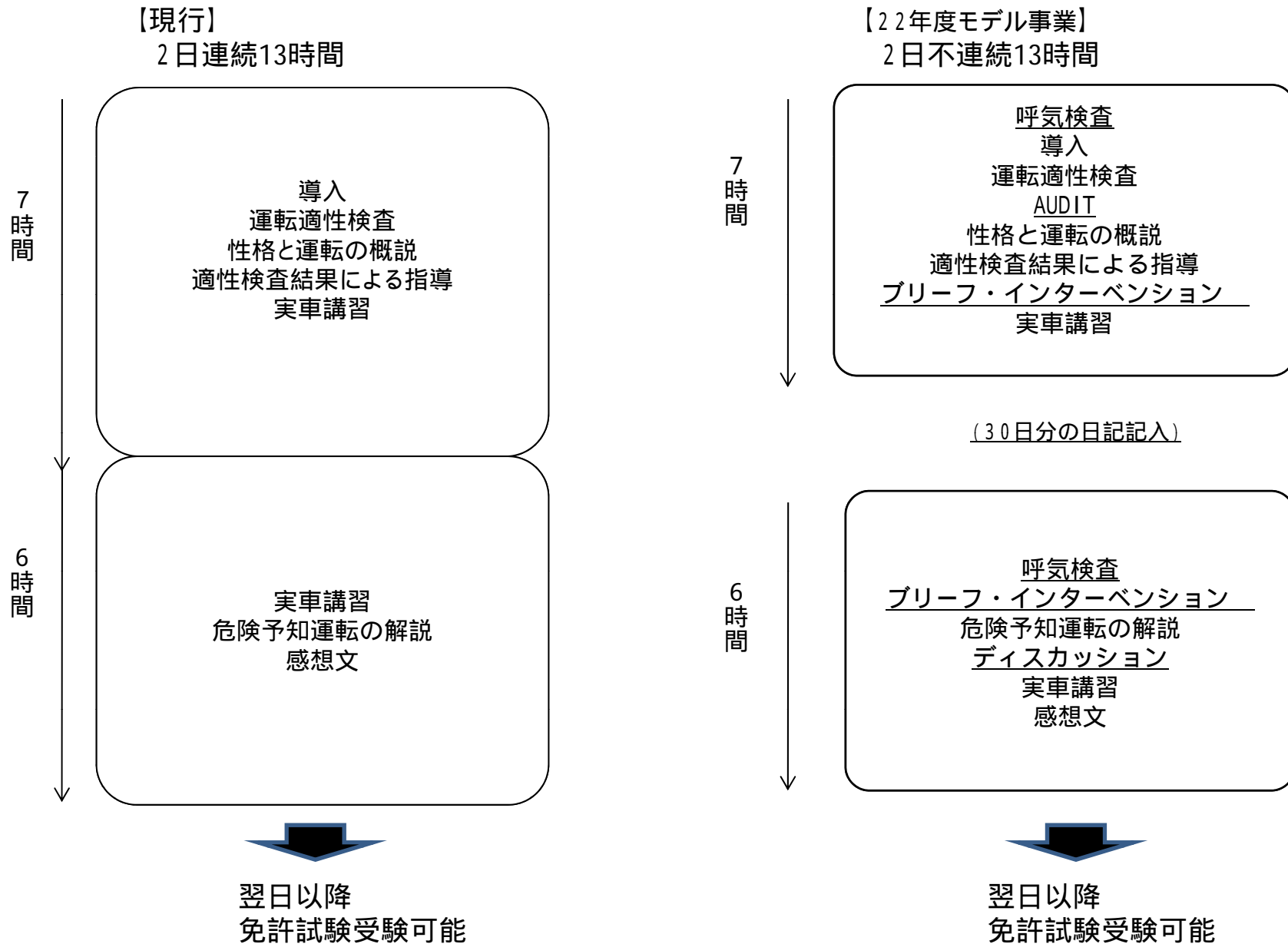
5 今後の方針

モデル事業終了後1年間の再犯率調査を行い、その結果を踏まえ、カリキュラムを確定させて実施体制を整えた上で、平成25年度を目途に酒気帯び運転等の違反者に対する取消処分者講習（飲酒取消講習）を全国において実施する。なお、モデル事業で一定の評価が得られたことから、全国実施に先立ち、準備の整った16府県警察において飲酒取消講習の試行実施を本年6月以降に実施する。

試行実施を行う16府県警察（試行実施の開始時期は府県警察によって異なる）

埼玉県警、千葉県警、神奈川県警、新潟県警、静岡県警、富山県警、石川県警、福井県警、岐阜県警、愛知県警、京都府警、大阪府警、島根県警、愛媛県警、福岡県警、鹿児島県警

飲酒運転違反者に対する取消処分者講習カリキュラムの比較



新しい取消処分者講習（モデル事業）の実施結果について

1 新しい取消処分者講習（モデル事業）のアンケート調査結果

- (1) 回答者総数
450名
- (2) アンケートの調査結果
別添資料のとおり
- (3) 主な質問に対する回答

問 今回の講習を受けている間、飲酒量はどのように変わりましたか。

減った	340名（75.6%）	変わらない	93名（20.7%）
増えた	1名（0.2%）	わからない	7名（1.6%）
断酒中	9名（2.0%）		

「断酒中」についてはアンケートの選択肢としていなかったが、記載した者がいたため別に計上

問 呼気検査、アルコール依存症の簡易テスト、ワークブックを使った指導及び飲酒運転についてのディスカッションを新たに導入した今回の講習と、これらの講習項目を導入していない今までの講習と比較して、どちらの講習の方が良いと思いますか。

今回受けた講習の方が良い	158名（35.1%）
今までの講習の方が良い	26名（5.8%）
どちらが良いかわからない	90名（20.0%）
今までの講習を受けたことがないのでわからない	176名（39.1%）

2 処分原因別受講人員

事故：死亡5名（1.1%）、重傷20名（4.4%）、軽傷72名（15.9%）

違反：酒気帯び318名（70.0%）、酒酔い17名（3.7%）

危険運転致死傷（アルコールの影響によるもの）1名（0.2%）

その他21名（4.6%）

重傷とは1か月以上の治療を要する負傷者を出した交通事故で、軽傷とは1か月未満の治療を要する負傷者を出した交通事故をいう。その他とは、取消処分の原因となった違反は飲酒運転ではないが、処分に係わる累積点数に飲酒運転の違反があった者などをいう。

新しい取消処分者講習(モデル事業)のアンケート調査結果

回答者合計： 450名

「割合」は、小数点第2位を四捨五入しているため、各回答内容の「割合」の和は必ずしも100%となるわけではない。

問1 年齢を教えてください。

回答内容	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	合計
人数	2	92	161	111	51	28	5	450
割合	0.4%	20.4%	35.8%	24.7%	11.3%	6.2%	1.1%	100.0%

問2 性別を教えてください。

回答内容	男	女	合計
人数	419	31	450
割合	93.1%	6.9%	100.0%

問3 現在あなたはどのような仕事をしていますか。

回答内容	専門	管理	事務	販売	サービス	保安	農林漁業	運輸
人数	41	66	22	31	60	5	4	10
割合	9.1%	14.7%	4.9%	6.9%	13.4%	1.1%	0.9%	2.2%
回答内容	生産工程	主婦	学生	無職	合計			
人数	139	5	10	56	449			
割合	31.0%	1.1%	2.2%	12.5%	100.0%			

無効回答数1

職業の凡例

専門：専門的、技術的職業従事者(医師、弁護士、建築士など)

管理：管理的職業従事者(会社経営者、会社管理職など)

事務：事務従事者(会社事務系職員、事務系公務員など)

販売：販売従事者(小売業店主、スーパー・デパート販売員など)

サービス：サービス職業従事者(飲食店・ホテル従業員、理容師など)

保安：保安職業従事者(警察官、消防士、自衛官、警備員など)

農林漁業：農林漁業作業者(農林・漁業・林業従事者など)

運輸：運輸・通信従事者(バス・タクシー・トラック運転手など)

生産工程：生産工程・労務作業者(工場勤務者、大工、建設作業員など)

問4 今回の講習を受けている間、飲酒量はどのように変わりましたか。

回答内容	減った	変わらない	増えた	わからない	断酒中	合計
人数	340	93	1	7	9	450
割合	75.6%	20.7%	0.2%	1.6%	2.0%	100.0%

「断酒中」についてはアンケートの選択肢としていなかったが、記載した者がいたため別に計上

問5 今回、講習の実施方法を2日連続13時間の講習から、2日不連続13時間の講習としましたが、受講の負担についてはどのように感じますか。

回答内容	負担が大きい	負担は大きくも小さくもない	負担が小さい	わからない	合計
人数	249	130	36	35	450
割合	55.3%	28.9%	8.0%	7.8%	100.0%

問6 講習の実施方法について、今回受講された実施方法を含めて下記の実施方法の中でどのような実施方法が受講の負担が小さいと思われますか。なお、講習の総時間数は13時間で変わらないものとします。

回答内容	4週間で2回の講習	6週間で4回の講習	2日連続で2回の講習の後、4週間後に3回目の講習	合計
人数	370	10	33	413
割合	89.6%	2.4%	8.0%	100.0%

無効回答数37

問7 呼気検査、アルコール依存症の簡易テスト、ワークブックを使った指導及び飲酒運転についてのディスカッションを新たに導入した今回の講習と、これらの講習項目を導入していない今までの講習と比較して、どちらの講習の方がよいと思いますか。

回答内容	今回受けた講習の方が良い	今までの講習の方が良い	どちらが良いかわからない	今までの講習を受けたことがないのでわからない	合計
人数	158	26	90	176	450
割合	35.1%	5.8%	20.0%	39.1%	100.0%

問8 次のうち、どの講習項目が飲酒運転を防止するうえでためになると思いますか。(複数回答可)

回答内容	呼気検査	アルコール依存症の簡易テスト(AUDIT)	ワークブック(飲酒・生活日記)を使った指導	飲酒運転についてのディスカッション	自分にとってためになったものはない	わからない	合計
人数	143	166	237	226	7	19	798
割合	17.9%	20.8%	29.7%	28.3%	0.9%	2.4%	100.0%

問9 次のうち、どの講習項目が自分の普段の飲酒習慣を変えるのにためになったと思いますか。(複数回答可)

回答内容	呼気検査	アルコール依存症の簡易テスト(AUDIT)	ワークブック(飲酒・生活日記)を使った指導	飲酒運転についてのディスカッション	自分にとってためになったものはない	わからない	合計
人数	64	132	292	177	9	26	700
割合	9.1%	18.9%	41.7%	25.3%	1.3%	3.7%	100.0%

新しい取消処分者講習（モデル事業）のアンケート調査結果（自由回答分）

アンケート調査において受講者の主な自由回答をまとめた結果は下記のとおり。

1 講習についての感想

(1) 講習全体

- ・ 飲酒運転について再度反省した。(20名)
- ・ お酒に対して考え深くなる内容だった。(13名)
- ・ 今回講習を受けたが、今回と同じままでいいと思う。(9名)
- ・ 安全運転の大事さを改めて学ぶことが出来た講習だった。(7名)
- ・ 再び運転免許を取り直すことの大変さと免許の大切さを自覚した。(5名)
- ・ 飲酒量を減らすなど、意識を変えるきっかけとなった。(5名)
- ・ 受講者に対していろいろな面で良く配慮した内容だった。(4名)
- ・ 少人数制が良かった。(4名)
- ・ 自分自身お酒の付き合い方を見直すきっかけができて大変良かったと感じている。(3名)
- ・ 酒を飲む量が減った。(3名)
- ・ 断酒を続けるもしくは断酒することを考えるようになった。(3名)
- ・ 今後の生活に役立てたい。(3名)
- ・ 意識を高める講習で良かった。(2名)
- ・ 1か月があつての講習はとてもめんどくさかった。もう二度と来たくない。(2名)
- ・ 堅苦しくなく、いろいろと質問できて良かった。(2名)
- ・ 今回の講習を行えば飲酒運転は減ると思う。(2名)
- ・ 講師が良かった。(2名)
- ・ 受講前は2日間は長く、費用も高額だと感じていた。講師次第で楽しい、貴重な時間になると思う。
- ・ 違った角度からの自分が見えたのは良かった。飲酒での取消処分者講習との事だったので、もう少し、飲酒について深い感じかと思っただけ、思ったよりは、聞きやすく、わかりやすかった。もう少し飲酒運転での厳しさがあってもよかったかとも感じられた。
- ・ 今後、自分のもとより、周囲の人にも飲酒運転をさせないように、はたらきかけていけるようになりたい。
- ・ 今回私がモデルとしての講習を知り、免許がすぐとれるはずだったのが、30日後に2回目の講習となり、モデルにされた事に対しては腹立たしく思っている。
- ・ すごくためになった。免許を取得した時には以前とは違っていると思う。
- ・ 複雑でわからない事がたくさんあったが、講習で学ぶことができた。
- ・ 受講の時間が、思ったより短かったような気がする。
- ・ 日程、内容自体が私が取消処分となった時と大きく変更されていたので困惑した。
- ・ 「何がなんでも飲むな」ではなく「お酒と上手につきあおう」というスタンスで指導してくれたので、これなら自分でも目的を持って実現できると思った。

- ・ 費用はかなりの痛手だったが、一生に一回なら受講した値打ちはあると思う。
- ・ スパルタ的教育を受けると受講前は大変不安だったが、大変優しく講義してもらい嬉しかった。逆に自らを見直す良い機会となり感謝している。
- ・ 自分と同じ経験をした人がいたので安心した。もうこんな講習には二度と来てはいけないと思った。
- ・ 免許を取るのが1か月以上伸びてしまった。
- ・ 最後のビデオの事故シーンがリアルでエグ過ぎて見ていられなかった。
- ・ 自分の性格を知る適性テストは本当に良かった。自分がどういう性格かというのはだいたいわかっていても理解していなかったなので、その自分の性格を知り、その適性テストの資料を見て先生が助言してくれる、これは大変自分のためになったと感じている。
- ・ 教習コースを体験することができたことは大変良かった。講習だけだと安全運転についての考えは、自分が思っているのが正しいと思う人がいるので、コースを体験することが重要だと思う。

(2) 呼気検査関係

- ・ 呼気検査は前夜から非常にプレッシャーだった。

(3) AUDIT関係

- ・ 自分の飲酒が多いことを知った。(2名)
- ・ 自分自身のアルコールの依存等が、どんなものかが分かった。

(4) ブリーフ・インターベンション関係(ワークブック)

- ・ ワークブックにより、自分の1か月間の飲酒量や生活習慣がわかった。(4名)
- ・ ワークブックの日記を書いたことで、飲酒に対する意識が働き、飲酒を抑制する良い機会となった。(4名)
- ・ ワークブックは非常に良い方法だと思った。(3名)
- ・ ワークブックを使ったことで、飲酒に対する知識を学べ、飲酒に対する意識が変わった。(2名)
- ・ 運転以外にも体のことを考えると酒をやめることは良いと改めて再認識した。
- ・ 一方的な講義よりもなぜ自分自身がそうなのかという思いが見えて、事の重大さ、一般社会に自分という人間の接し方を考えることができたと思う。処罰的な講習よりもカウンセリング的で素直に反省できたような気がした。
- ・ ワークブックを使った指導は私にとってはとても考えさせられた。自身の生活自体を改め2度と免許取消しとなるような恥ずかしい事はしないと切に思った。
- ・ 1日目と2日目の講習が一月あいている事は、ワークブックを毎日付け、自分自身の見直しの機会となり良い講習方法だと思う。
- ・ お酒日記は本当にめんどくさいと思った。しかし、その反面、読み返す事が出来たりお酒を控えたりできた事はすごく良かった。
- ・ ワークブックを書くことによって禁酒を決断できたことがとても良かった。何かきっかけが出来るのでいいと思う。
- ・ ワークブックを1か月間記入したのは、ためでもあり、苦痛でもあった。
- ・ 前日の飲酒が何時間位で抜けるのか計算が大変ためになった。
- ・ 2日連続で講習を終わるよりも1か月間、日記をつける事により、自分の生活リズムを見直すきっかけとなり、大変良かったんじゃないかと思った。

(5) ディスカッション関係

- ・ ディスカッションは、良く理解できて良かった。(2名)

- ・ 従前の違反講習と比べ飲酒を中心にしているのは当を得ている。今回の講習によっていろんな知識を得ることができた。また、ディスカッションなどは、今後の自分の生活についても役立つアドバイスをもらえた。
- ・ 堅苦しくなかった今回のようなディスカッションを増やした方法が大変良かった。
- ・ 内容的には良い物だと思う。自分以外の人の意見を聞いたことが良かった。

2 講習に関する疑問

(1) 講習全体

- ・ 飲酒そのものの意識改革と飲酒運転は全く別物だと思う。(2名)
- ・ 運転講習はしらふなのでやる必要があったのかよくわからない。他人の運転を見るのも良いと思うが、飲酒での講習なので飲酒についての講習だけの方がよいのでは。
- ・ 自分はアルコール依存症ではないが、この講習の重点は依存症体質の人が対象ではないかと思う。酒は人生の楽しみの一つで禁酒することは難しい。アルコールが悪いのではなく、飲酒運転が問題なのだとすることを明確にした方が良かったのではないか。
- ・ アルコールが体に与える影響のところは、当たり前だと感じる内容が多く、ためにならなかった。飲酒依存している人ならためになることが多いが、何も依存している訳ではないので、どうかと思う内容も多かった。飲酒運転を減らすための何かをした方がよいのでは。
- ・ 講習内容が同じでも教える先生によってもかなり違いがあるのでは。
- ・ アルコール依存症は病気。もう少し違う観点から見直しては。

(2) AUDIT関係

- ・ アルコール依存症ではないのでアルコールの飲酒依存的な検査はどうか。

(3) ブリーフ・インターベンション関係

- ・ ワークブックに本当の事を書かない人も中にはでてくると思う。(2名)
- ・ 生活日記が我々が既にアルコール依存症であるかのような内容で、脱アルコール色が強く感じられた。
- ・ お酒を飲む人に対して断酒をすすめるのではなく、適切な飲酒について指導した方がいい。たばこをやめられない人に断酒をすすめても無理がある気がする。
- ・ ワークブックはあまり効果がないような気がした。日記をつけることがめんどくさくなり、たぶん30日分を適当に数十分かけて書くことができるので、どれだけ飲んだということは、よっぽらいの人の中には記憶にない事も多々あると思う。
- ・ ワークブックの狙いが理解できない。日記を書くことによって何がどう変わるのかきちんと説明が欲しいと思う。この講習は二度と受けたくはないが、大変勉強になった。
- ・ 飲む人間は飲むし、反省している人間は少し減ると思う。その人次第なので全員1か月にすることが良いのかがわからない。

3 要望

(1) 講習全体

- ・ 金額が安かったら良い。(5名)

- ・ やはり社会問題になってきているのでもっと厳しく講習の制度を変えてもいいと思う。(2名)
- ・ 飲酒運転の危険性及び飲酒時に現れる身体の変化(反応、精神等)についてもっと映像を活用した方が、もっと強く飲酒運転の危険性が理解できると思う。(2名)
- ・ 講習予約をしてから受けられるまでが長い。(2名)
- ・ 実際に飲酒をした直後になにかテストみたいなものができるともっと飲酒についての影響的なものを実感できると思う。
- ・ 座って話を聞くだけだと眠くなるので、ノートに書き取ったりしたらいいと思う。
- ・ 悲惨なビデオをいっぱい流す。
- ・ 余りにも講習の人数が少ない。個々の仕事内容を踏まえた上での制度にすべき。
- ・ 飲酒前の運転録画と飲酒運転の録画を比較することができれば抑止になると思う。
- ・ 自己の管理を植え付けることしか飲酒はやめられない。いかに自分自身を管理する方法を考え行動するか。これを自分で覚えるように教育する。
- ・ 担当者と受講者がもっと一人一人対話する場を持った方が良い。
- ・ ビデオの内容が昔のことばかりだったので、最近の出来事や情報も知りたかった。

(2) 日程関係

- ・ 不連続で1回目と2回目の間が1か月あるのが長い。(13名)
- ・ 2日連続の方が良かった。(11名)
- ・ 30日の日記が必要で2日不連続だとは知らなかったので前もって通知して欲しかった。(4名)
- ・ 日時を選べると良い。(2名)
- ・ 土曜日か日曜日にも講習があった方が良い。
- ・ 2日連続の講習で30日間の作文は後日提出といった形が良いと思う。
- ・ 講習の内容は良かった。ただ、この講習を受ける予約が取れないし、1か月間の時期と合わせると約3か月~4か月ぐらいかかった。その辺を改善して欲しい。
- ・ 昼までにして欲しい。
- ・ 良いと思うが、日にちをもっと自由にしてもらおうと大変みんなが楽だと思う。

(3) カリキュラム関係

- ・ 実技指導(運転)は、その人の運転の何が悪かったのか、今までの自分の運転を見直す良いチャンスになるので、もっと時間あれば良かった。(3名)
- ・ ディスカッションの時間を増やし、多くの人の事例や状況を聞き、自分自身に有益になる様にする。
- ・ 車の運転は1回で良い。
- ・ 運転講習は無くても良いのでは。
- ・ 日記について、「全く飲まなかった」と一つ一つ書かせるよりも「×」と記入する方が書きやすく、見る方もわかりやすい。
- ・ アルコール依存症の疑い有りの者のみ、日記をするべきだと思う。
- ・ 2本目のビデオは不必要だと思う。「交通事故に明日はない」)
- ・ 最後に見たビデオは講習の最初あたりに見せた方がより良く講習を受講できると思う。「交通事故に明日はない」)

- ・ 本人が一番反省してるだろうから、日記は必要ない。
- (4) その他
- ・ 2日間あっという間だった。来る前は面倒だったが、来てしまえば非常に意味のある講習だった。自分は免許を取ったのは18歳の時だったが、その時こういう講習を受けていれば飲酒運転はしなかったかもしれない。とにかくこの講習は車を運転するすべての人に受けて欲しいと思う。
 - ・ 取消しを受けた人だけでなく、全体的に免許を持っている人に広がった方が良いのではないか。
 - ・ 通常の人には前日に飲酒して、翌朝、車を運転する事に対して、それが飲酒運転になるかもしれないということを認識している人が少ないと思う。受講した後で理解したが、一般に対してのアピールの余地があるのではないか。
 - ・ 出来れば免許の試験を先に受けてから講習を行い、講習完了時に交付するというような事もあれば良い。
 - ・ ワークブックについて、個人的には、違反直後、処分直後の者が日記を付けることが望ましいと思う。取消講習は欠格期間終了後、数年経過している者もあり、日常における飲酒習慣が当時と変化していることが多いと思われる。
 - ・ 1か月かけるのではなく、1回目2回目を1日目2日目でやって、試験を受ける時に1か月分のワークブックを回収。
 - ・ 講習の負担が大きければ飲酒運転も減ると思う。もう少し世間に講習は2回で日記もあるというのを知らせて良いのではと思う。
 - ・ 仮免許の有効期間が6か月に対して1か月の待ち期間はきつい。有効期間の延長等対処を考えてもらいたい。
 - ・ 視力検査（静止視力）の結果を証明書としてもらいたい。
 - ・ 講習以前に取消処分者講習の受講の仕方が解りづらい。

回答内容が似通っているものは延べ人数で記載